

(地方創生)政策評価調書(27年度実績)

政策名	仕事をつくり、仕事を呼ぶ	所管部局名	企画振興部	政策コード	IV-2
		関係部局名	企画振興部、商工労働部、農林水産部	長期総合計画頁	171

【Ⅰ. 政策の概要】

地域密着の産業である農林水産業や商工業、観光・ツーリズムなど、様々な分野に魅力ある仕事の場を創出する。

【Ⅱ. 構成する政策・施策(主な取り組み)の評価結果】

取組No.	政策名	施策名	指標評価	総合評価
①	変化に対応し挑戦と努力が報われる農林水産業の実現	構造改革の更なる加速	達成	A
		マーケットインの商品づくりの加速	達成	A
		経営マインドを持った力強い担い手の確保・育成	概ね達成	A
②	多様な仕事を創出する産業の振興と人材の確保	多様で厚みのある産業集積の推進	達成	A
		未来に向けた戦略的・効果的な企業立地の推進	達成	A
		チャレンジする中小企業と創業の支援	達成	A
		商業の活性化とサービス産業の革新	達成	A
		急速に進化する情報通信技術の普及・活用	達成	A
		産業人材の確保・育成とワーク・ライフ・バランスの推進	達成	A
		クリエイティブ産業への挑戦	達成	A
③	人を呼び込み地域が輝くツーリズムの推進	国内誘客の推進と海外誘客(インバウンド)の加速	達成	A
		おんせん県おいたの地域磨きと観光産業の振興	達成	A

【Ⅲ. 目標指標】

指標	関連する取組No.	基準値		27年度			31年度	36年度	目標達成度(%)				
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値	25	50	75	100	125
i 魅力ある仕事づくりによる新たな雇用創出数(人)	①②③	-	-	745	991	133.0%	4,300	9,700					

【IV. 指標による評価】

評価		理由等	平均評価
i	達成	各分野で魅力ある仕事づくりに取り組んだ結果、目標値を達成できた。	達成

【V. 施策に対する意見・提言】

<p>○大分県新長期総合計画策定県民会議(H27.6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農商工連携、6次産業化も連携がうまくいっておらず、点に止まっている。点から面に広げるためには、うまくいっているところに政策を集中していく必要もあるのではないか。 ・農業の重点品目が、この10年間固定されており見直しがされていない。10年やって効果がないものは、ある程度検証をかけた上で、見直しをしないと新しい動きに対応できない。 ・サービス産業のうち、宿泊・飲食業は賃金が安い。これでは、結婚・子育てに結びつかないし、若者が流出する。経済がグローバル化するとサービス産業化していくので、若者を大分に残し、安住させていくために高付加価値化を図るべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・おんせん県おおいたの認知度は向上してきたと思う。この機を捉え、一気に認知度が上がるような取り組みをすべき。 ・大分県は九州一の観光資源が豊富なところだと思うが、7割の観光客が別府・湯布院に集中していること、観光客のうち宿泊数が少ないことなど、ポテンシャルが十分に活かされていない。別府や湯布院を活用して、県内全体に循環できるような観光のテーマやストーリーをつくって、多様化するニーズに適用できるようにするべき。観光は波及効果も高いので、高付加価値化が進んでいけば、若い人が地元で就職できる。
---	---

【VI. 推進上の課題と今後の展開について】

<p>本県の人口移動を見ると、県外への転出が転入を大幅に上回っている。その多くは15～24歳の若年層で占められており、転出先は、福岡県、東京都などの都市部に集中している。このような人口流出をくい止めるため、地域密着の産業である農林水産業や商工業、観光・ツーリズムなど、様々な分野で魅力ある仕事をつくり、仕事人が人を呼び、人が仕事を呼ぶ好循環を創出していく必要がある。</p>
